

行政評価委員会説明資料

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)

社会的企業を育てる環境整備による人材環流事業

(市事務事業:シビックイノベーション推進事業)

スナバの概要

2018年8月にオープンしたシビック・イノベーション拠点。「生きたいまちを共に創る」をビジョンに、コワーキング・アクセラレータ・リビングラボの3つの機能を有し、全ての人が自分が生きたい暮らしを実現するためのアクションを起こすムーブメントを実践中。現在の会員数約120名。



人を創る：三大シップの醸成。アントレプレナーシップ/オーナーシップ/リーダーシップの醸成—“なんとかするのはあなた”、“あなたならなんとかできる”

生きたいまちを共に創る
渦（ムーブメント）を起こす！

COWORKING
コワーキング

LIVING LAB
リビングラボ

ACCERLATOR
アクセラレーター

垣根を超えてつながる。共創の
機会の創出。
集合知のプラットフォームをつ
くる。

事業を創る：自律的な事業やプロジェクトの創出・伴走、地域やまちの未来をポジティブに変えていく事業を増やす





シビックイノベーションで、ミライをつくる。

- × すごい人だけができる
- ◎ 市民・生活者が担い手のイノベーション



「シビック・イノベーション」

企業、起業家、大学、生活者、そして行政。
そのすべてを「市民」ととらえ、
持続可能性と社会的効果を両立する事業や、
新しいしくみを、ともに生み出し、ともに育てる。
それが、スナバが作る未来です。

スナバが実施する事業



コーワーキング

COWORKING

事業が前に進むメンバー制の起業家コミュニティ形成

- ・充実したシゴトバ
- ・全国・世界につながるコミュニティ
- ・事業が前に進むハンズオンでの伴走支援
- ・ミートアップや人と繋がれるイベント企画



アクセラレーター

ACCELERATOR

地域の未来をポジティブに変えていく伴走型プログラム

- ・起業前フェーズにおけるプログラム
- ・高校生起業家プログラム「エヌイチ道場」
- ・インパクト投資によるリスクマネーの獲得



リビングラボ

LIVING LAB

地域のプレイヤーと企業とのリソースマッチング・実証実験

- ・企業による地域課題解決事業の創出
- ・地域プレイヤーと企業との共創の創出

■どんな人？

起業家、フリーランス、企業の社員、行政職員、
地域企業の2代目、etc...

■どこから来てる？

塩尻市、松本市、伊那市、下諏訪町、
東京都、名古屋市、福岡県、etc...

■年代

高校生、大学生（インターン）、20代～70代

■ジャンル

デザイナー、クリエイター、農家支援、福祉、
シェアハウス運営、空き家活用、観光、etc...





持続可能なビジネスに挑戦する
地域の起業家に向けた
事業を加速させる
4ヶ月の実践型プログラム







エヌイチ 道場

エヌイチ道場は「喜ばせたい誰かがいる高校生」に寄り添い、
実際に高校生が事業を起こすためのプログラム。



第1期:7名の参加



第2期:10名の参加



第3期:12名の参加



「おぞかしいけど楽しい!」
親子一緒に2人で遊べるゲーム作りに挑戦!

「おやこのための」
プログラミング
たいけんかい
体験会

開催日 **1月23日** SUN
9:00~11:30

対象 **小学3~6年生
&保護者様**

場所 **えんぽーくICTルーム**

持ち物 **なし**

参加費 **無料**

Scratch を使ったわかりやすい、親子で遊べるゲーム作りを行います。
自分のゲームが完成したら、二人のマイクでゲームを
発表し、自由に質問して遊ぼう!

Scratch の特徴は、マイクで
話せることです。
発表の楽しさを体験しよう!

お申し込みはこちらから
先着5組様
(1/20水曜日まで) ↓

主催 東京都市大学地域貢献研究コース 池原 麻由
後援 塩尻市高校生の起業家教育事業「エニイテック」
プレイベント「事業運営：シビックイノベーション
拠点「スガバ」」
お問い合わせ
mayukiyozen@gmail.com

**エシカルファッションで
消費から世界を変える**

日常生活に欠かせない衣服。ファッションを
楽しみつつ、持続可能な社会を作ろうとする
2人のビジネスヘフィードバック求む!

セレーナ & あすみ
Maxine 共同代表

2021.12.03 12:00-13:00
フィードバックランチ

feat. **maxine**





社会にインパクトを起こす事業に
新しい資金調達の選択肢と伴走を

- 地域型インパクト投資プログラム - **DIVE**

地域型インパクト投資プログラム「DIVE」は
事業を次のフェーズに移行させていく事業家に向けて
そのタイミングで必要となる事業計画や資金調達に伴走すると共に
新しい投資の形「インパクト投資」の機会を提供します。



次のフェーズに進む知識

人材の募集や事業方向の転換など、次のフェーズに進む時には事業計画や周囲を巻き込む力が必要不可欠です。

投資を受けられる精度での事業計画書や、なぜこの事業が社会に必要なかを体系だって伝える手法もお伝えします。



あなたに向き合う伴走

プログラムの伴走をするのは、何社ものインパクト投資に関わってきた(親しみのある)ベンチャーキャピタリストや、誰もがシビック・イノベーションを起こせるよう伴走を重ねてきたスナバの運営チーム。

ぜひこのページ後半の「チーム」もチェックしてください。



同じ目線で話せる仲間

事業を進めていると、同じ視座の高さで個々に作り出したい世界について話し、相談し合える仲間の大切さに気づきます。

プログラムに参加する同士はもちろん、シビック・イノベーション拠点スナバのコミュニティも活用。フラットに話せる関係性ができることは、大きな財産となります。



新しい資金調達の選択肢

実際に地域では機会が少ない「投資家」と知り合い、対話することができます。

資金調達に乗り出す具体的な機会はもちろん、社会に生きたいインパクトの共通することで盛り上がり、関係性から事業の伴走的な関わりにつながることもあります。



事業計画書

社会的インパクトの見える化～THEORY OF CHANGE～

ユニットエコノミクス含めた財務に関する考え方

チームセッション





目指したい社会や地域課題を軸にした事業構築にあたって、企業の課題感やニーズと私たちのアセットやリソースを組み合わせ、協働できるメニューを検討しております。

1 仮説検証実施・事業化に向けた伴走

- ・ 検証実施・事業化に向けたプロジェクト設計への伴走
- ・ 地域コミュニティ・個人の事業者への接続

2 人材育成やマインド醸成サポート ※

- ・ 地域内での信頼関係の構築やコミュニケーションのサポート
- ・ 1on1実施による事業相談、メンタリング

3 イベントの共催

- ・ 地域でのプロトタイプイベント、事業ピッチなどの共催

4 スナバメンバーシップへの加入 ※

- ・ コワーキングスペース利用
- ・ コミュニティ・イベントへの参加

※人材育成サポート・メンバーシップへの加入は3名までとさせていただきます



セイコーエプソン(株)

エプソンアヴァシス(株)

SBイノベンチャー(株)

中部電力(株)



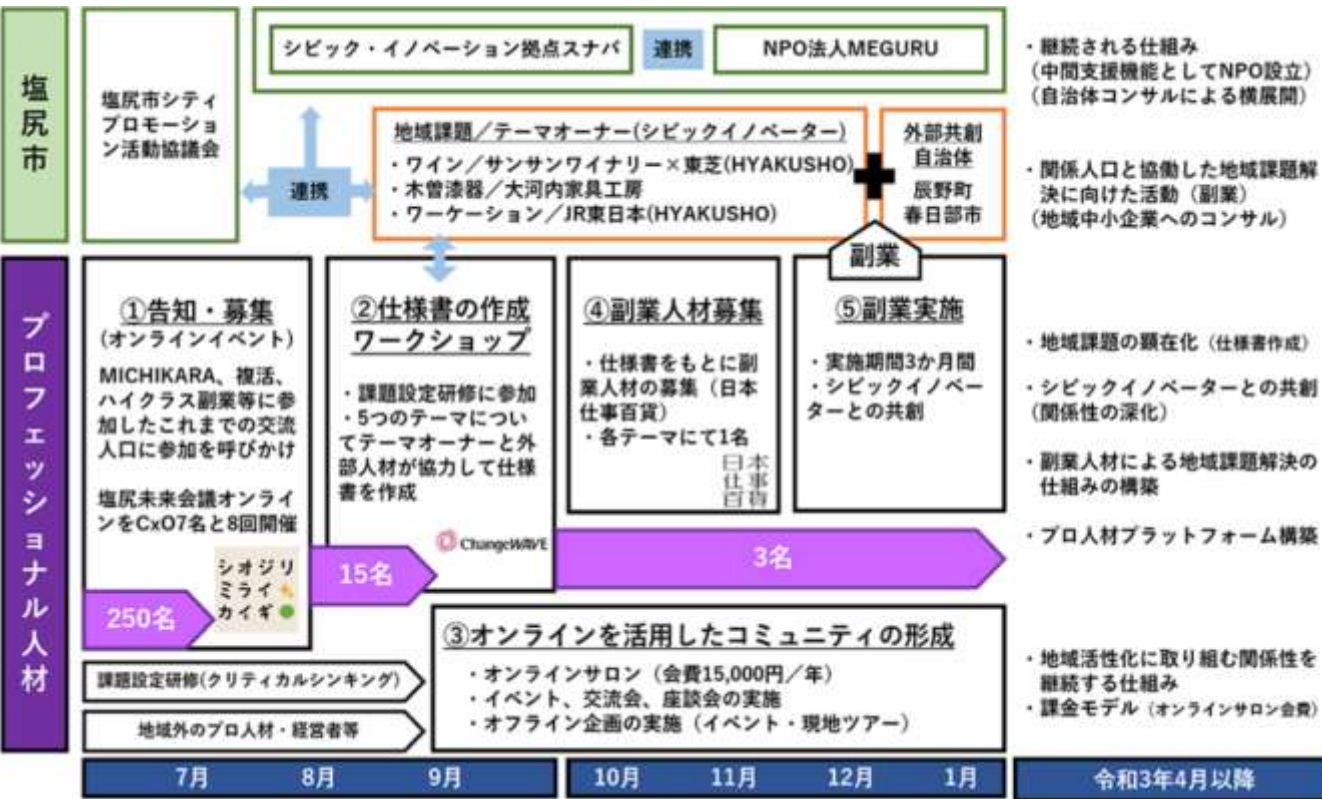
関係人口の創出



総務省「関係人口創出・拡大モデル事業」



1741自治体のうちの25モデルに採択 塩尻独自の取組みを展開



課題を明らかにする「仕様書」



オンラインコミュニティ「塩尻CxO Lab」



「副業」による課題解決実施



塩尻CxO Labの取り組み

塩尻 CxOLabとは



地域プレイヤーと関係人口の協働によって、塩尻の地域課題解決や魅力の再発見を行う超実践型コミュニティです。地域の当事者として課題解決に一步踏み出してみたい、塩尻の魅力を高めたいと願うメンバーが集い、自分事として地域に関わるマインドとスキルを身につけていきます。



塩尻CxO Lab → プログラム終了後



塩尻CxO Lab2023テーマ



武田 卓哉さん

(株)Gizmo Fab./塩尻CxO Lab第3期メンバー

「実家の農地どうしよう？」
～都市部に住む農家の孫・子供に
情報と選択肢を～



新井 和佳さん

GLAMPING BASE enCamp

GLAMPING BASE enCampの
未来地図 ～価値ある出会いをつ
くる地域の居場所へ～



保証 祐希さん

塩尻市地域おこし協力隊/(株)ADDRESS

NFTを活用した自律分散型コミュ
ニティの創出
関係人口創出の舞台となる
「en.to」でプロトタイピング

関係人口の強化について

【As is(CxO Labのみ)】

- ・地域への関わりしるを、事務局で意図的に創出
- ・プロジェクトが終了すると、関わりしるが喪失
- ・数名は継続的に地域で活動するが、極めて限定的
→継続的関わり創出は工数がかかり持続不可能
- ・地域からの理解が不足し関係性が限定的で分断



【To be(Web3.0の概念導入)】

- ・地域でやりたいことや課題解決に対して、自らアクションやプロジェクト創出
- ・アクションやプロジェクトに必要なリソースを、コミュニティ内から確保
- ・関係人口と地域プレイヤーの自律的な共創を促進

【具体的手法】

■NFT発行による関係人口の「デジタル住民」化

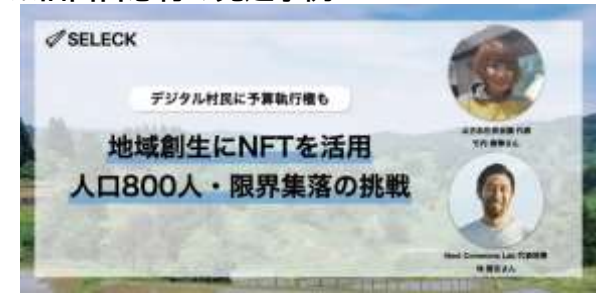
- ・発行主体:NPO法人MEGURU(「MEGURU NFT」)

■分散型自立コミュニティ(DAO)の形成

- ・地域への関わりや課題解決を自主的に企画、プロジェクト化
- ・コミュニティ内で必要な資源等を調達
- ・コミュニティ運営:地域おこし協力隊

※全国でも100件以上の活用事例が存在

※旧山古志村の先進事例



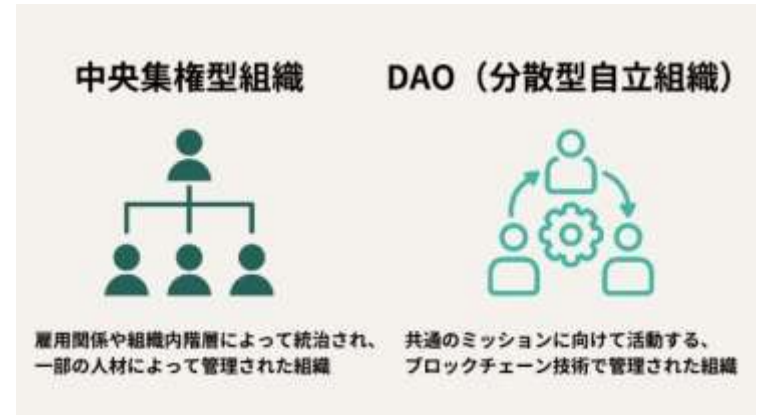
■NFTによるデジタル住民化イメージ

- ・NFT:偽造不可な鑑定書・所有証明書付きのデジタルデータ
→住民票と同じく「保障された権利」を有する。



■DAOによる分散型自立コミュニティのイメージ

- ・特定の所有者や管理者が存在せずとも、事業やプロジェクトを推進できる組織
→能動的で主体的な関わりができるコミュニティが創出できる。



参照:<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000167.000046191.html>

参照:<https://school.jp/matome/article/1541>

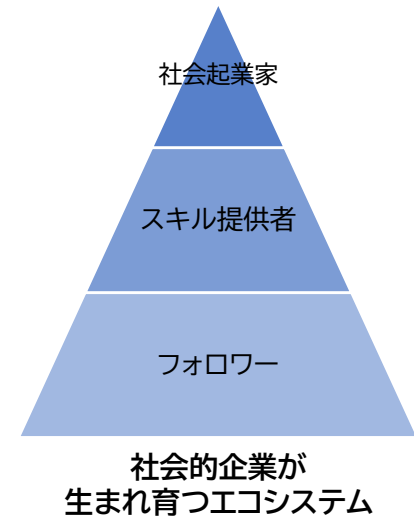
これまでの成果

■定量的成果

- ・スナバのメンバー数 延べ人数:243名 現人数:118名
- ・プログラム運営(シード/アーリー期、高校生、地域おこし協力隊)
回数:12回 延べ参加者数:70名以上
- ・移住/定住者/2拠点人数:50名以上
- ・法人等からの収益:約500万円(EPSON/アヴァシス/県委託女性起業家支援)
- ・関係人口人数:526名

■定性的成果

- ・地域インパクトを志向する事業の創出
 - 株式会社HYAKUSHO:耕作放棄地の取得、塩尻ワイン振興(アイマニ)
 - NPO法人MEGURU:地域中小企業の人的資本経営支援(地域の人事部)
 - 株式会社magemag:滞在型ツーリズム開発、木曾漆器のデザイン経営と販路開拓
 - 個人事業:大門マルシェ、アーティストインレジデンス、ミミー商店(大門商店街活性)
- ・塩尻市の事業支援
 - 新規/中途採用職員向けプロモーション動画の作成
 - 各種計画への参画(第6次総合計画、行政評価委員会、都市マス)
- ・各種団体との連携
 - 関東経済産業局(各都道府県の常駐拠点として検討)
 - 名古屋工業大学(人工知能によるコミュニティ形成における分析の共同研究)
 - 株式会社ゼブラアンドカンパニー(地域型インパクト投資の推進)



KPI	2023年度		2024年度	2025年度
	目標	見込み	目標	目標
新たにソーシャルビジネスを手がけた人数(のべスナバメンバー数)	40人	50人	45人	50人
新たに生まれたソーシャルビジネスの数(法人数)	3社	2社	3社	4社
ソーシャルビジネスの担い手となった関係人口の数	2人	2人	4人	8人
インパクト投資家より投資を受けた企業数	1社	2社	2社	3社

事業の投資対効果

【政策効果】

スナバに経営資源(ヒト・カネ)を投入することにより、
多様な地域インパクトを創出

※これまでの実績

- ・スナバのメンバー数 延べ人数:243名 現人数:118名
- ・プログラム運営:回数:12回 延べ参加者数:80名以上
- ・移住/定住者/2拠点人数:50名以上
- ・新規法人/個人事業主数:30以上
- ・法人等からの収益:約500万円
(EPSON/アヴァシス/県委託女性起業家支援)
- ・関係人口人数:526名



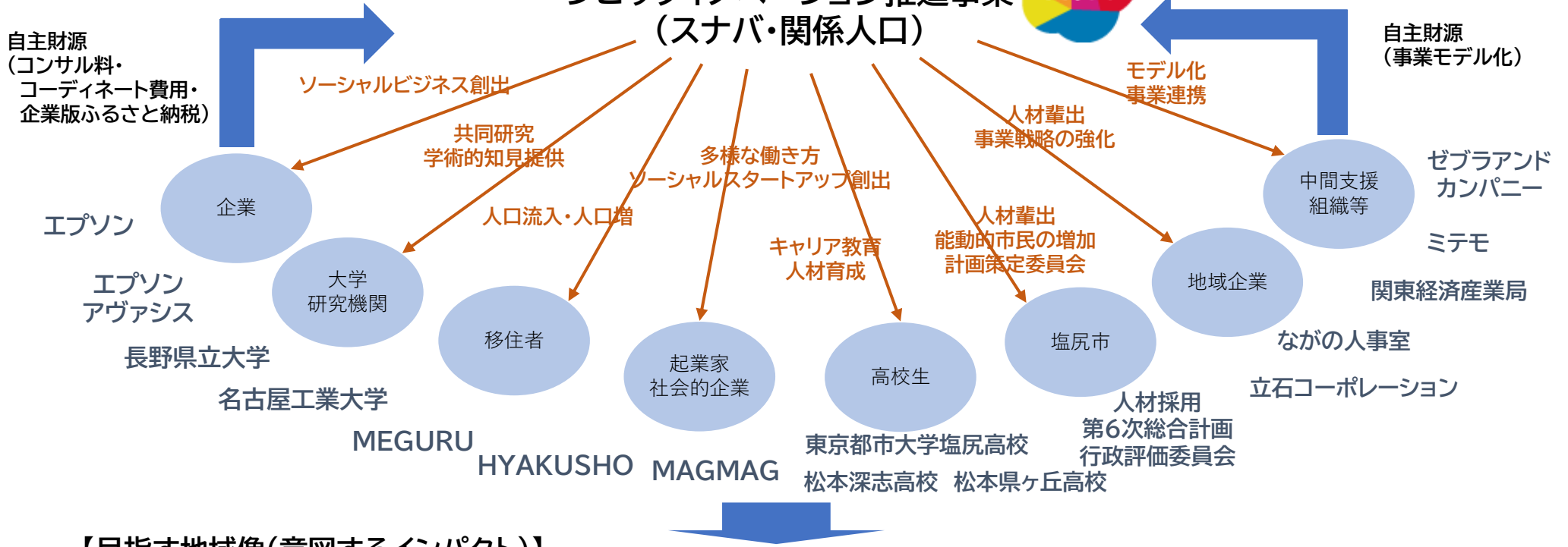
資源投入
(ヒト・カネ)



シビックイノベーション推進事業 (スナバ・関係人口)

【具体的な施策】

- 「事業の始めやすさ」「望む生き方働き方」「多様性」の実現
- ・起業家コミュニティの形成/伴走支援/イベント等の企画
 - ・多様な人/事業向けのプログラム企画・運営
 - ・社会的インパクトマネジメント、インパクト評価
 - ・多様なステークホルダーとのつながり、連携



【目指す地域像(意図するインパクト)】

■人が流動し続ける地域

- ・移住/定住人口の増加(約60名)
- ・若い世代のUターン
- ・地域に貢献する関係人口の増加

■社会的企業/起業創業の最先端地域

- ・事業を通じた社会/地域課題解決
- ・新規産業と雇用の創出
- ・地域における資金/投資循環の実現

■多様性(DE&I)が実現される地域

- ・自己実現や社会的寛容度の強化
- ・ジェンダーギャップの解消
- ※現メンバーの4割程度が女性

事業の基本方針

生きたいまちを共に創れる持続可能な地域

実施方針・具体的施策

- ①これまでの成果の拡充
 - ・起業家コミュニティ、プログラム運営
 - ・プロモーション強化
 - ・イノベーションカンファレンス等の対外企画
- ②事業支援や伴走機能の強化
 - ・地域型インパクト投資の実装
 - ・事業拡大をサポートする関係人口の拡大
- ③持続可能な運営体制の構築
 - ・①と②を実現する人的リソースの確保
 - ・資金調達を多様化する組織形態の検討

目指す姿

1. 社会的事業にチャレンジする人の増加
2. 地域にポジティブなインパクトを与える事業の創出
→共創・協働の浸透、挑戦者を応援する地域へ
3. 自律的な運営体制の確保

2025

ギャップ課題

- ・ 共創・協働の文化が地域に広がっておらず、地域へのインパクトの最大化ができていない
- ・ 法人化した社会的企業がスケールするための人と資金の不足
- ・ 伴走支援対象が増加する中で、運営の人数が年々減少し、持続可能な事業モデルが構築できていない

2022

強み

- ・ 起業家精神をもつ多様な人材コミュニティの形成
- ・ 地域企業、大企業の新規事業創造支援
- ・ 塩尻市役所のほか、関東経済産業局や経済産業省との連携

現状

1. 約120名(延べ240名)のスナバ会員の登録
2. まちへのインパクト出現(空き家活用、駅中店舗再生、中小企業支援、マルシェ企画)
3. 約1,600万円/年の売上高、スタッフ3人工での運営